

伊陸夢プランだより

第17号

令和4年11月24日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「文化祭 in いかち」が開催されました。

11月3日（木）文化の日、伊陸公民館と伊陸小学校を使って「文化祭 in いかち」が開催されました。昨年、「伊陸 納涼の夕べ」に代わるコロナ禍でもできるイベントとして「いかちの今と昔」を企画していたものに加え、文化的イベントとして「クラリネットとピアノのデュオコンサート」を行いました。

「いかちの今と昔」では、昔懐かしい写真や映像で伊陸を振り返りながら、令和2年9月に完成した伊陸公民館・伊陸小学校の複合型施設の見学ができるようにしました。

「演奏会」では、クラリネット奏者の藤山いずみさんとピアノ奏者の藤井美沙季さんによるデュオコンサートを、全面芝生の「アソビの庭」で鑑賞しました。

当日は、13時開場から地域の方が続々と来られ、皆さんの関心の高さが伺えました。写真展示では、昭和24年度から令和3年度の小学校の卒業写真（無い年度が数年あり）や過去の「伊陸天神」、平成16年度の「八関神楽」、コミュニティ協議会や公民館の行事や取り組み、スポーツ少年団や子ども会の写真などを展示しました。親子や3世代で来られた方もいらっしゃいました。写真を見ながら当時の思い出に花が咲き、当時の様子を子どもや孫に教える姿も多く目にしました。卒業写真の中から当時の自分や友達を見つけて歓声を上げて喜ぶ様子を見て、昨年の企画が実現できたことに安堵いたしました。また、地域の要となる伊陸公民館・伊陸小学校併用の施設見学においては、普段見る機会が少ない理科室や家庭科室なども開放し、地域の方が集う場所としてのコミュニティルームでは、公民館所有の昭和時代の写真アルバムを公開し多くの方で賑わっていました。

「理科室」と「多目的スペース」では、それぞれ「伊陸天神」「八関神楽」「糸操り人形」「琴伝流大正琴柳月会伊陸カトリア会 発表会」「柳井市子ども会育成連絡協議会作成DVD」の映像を編集したものと、ケーブルテレビの過去の伊陸に関する映像を流しました。椅子に座ってゆっくりと観賞され、当時を思い出して涙する方もおられました。

15時開演の「クラリネット&ピアノ デュオコンサート」では、100席用意した椅子が足りず、立ち見の方もいらっしゃるほど盛況でした。演奏者の藤山さん、藤井さんは、事前に会場を下見され、音の広がりや屋外の「アソビの庭」への音色の届き方など、入念にチェックされベストな環境を作って演奏されました。「ハウルの動く城」挿入歌の「人生のメリーゴーランド」に始まり、クラシック曲 エルガー作曲「愛のあいさつ」、モンティ作曲「チャールダーシュ」、日本の歌「故郷」「シャボン玉」「まちぼうけ」「みかんの花咲く丘」、伊陸小学校5・6年生が柳井市音楽会で演奏した「ラヴァーズコンチェルト」、そして伊陸小学校出身者にとって懐かしい伊陸小学校の「校歌」、アンコールとして復興支援ソング「花は咲く」の全10曲をトークを交えながら演奏されました。清々しい秋空の下、情感たっぷりの素晴らしい演奏に魅了され、とても贅沢な時間となりました。

「みんなの家」をコンセプトにした施設で、これからも地域が集い、活用できる場を作って参りたいと思っております。



今回、伊陸地区コミュニティ協議会として初めての試みでしたが、予想以上に多くの方に来ていただきました。令和2年9月に完成した複合型施設のお披露目もようやく叶いました。

「いかちの今と昔」では、写真展示などで多くの方にご協力をいただきました。また、小学校施設の開放や設備などの面では、小学校にもご協力をいただきました。この場を借りて心よりお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

今後ともみんなで協力し合う「たすけあいの郷「いかち。」」を目指して、なお一層の努力を重ねて参りたいと存じます。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。